

英語科学習指導案

指導者 広島市立〇〇小学校

教諭 〇〇 〇〇

英語指導アシスタント 〇〇 〇〇

- 1 日 時 平成26年10月〇日
- 2 学年・組 第6学年〇組
- 3 単元名 Lesson6 「ほしいもの」(3) ほしいものの値段
- 4 単元について

○ 本単元は、ほしいものを通して、ほしいものとその数や値段の言い方、コミュニケーションを円滑にすることばに慣れることをねらいとしている。また、物と数を組み合わせる言い方を通して、数詞の有無など、日本語と英語の違いに気付くようにすることもねらいとしている。

本時では、100から950までの数を使って値段をたずねたり答えたりすることで、ものの値段の言い方に慣れる活動を中心に行い、次時での買い物場面を想定した活動につなげていく。買い物という場面は、児童にとって身近であり、意欲的に学習に取り組むことができると考えられる。

○ 本学級では、英語の授業に対して意欲的に取り組む児童が多い。週1回の45分授業では、英語指導アシスタントの発音を大きな声で繰り返したり、慣れ親しむ活動やコミュニケーション活動で積極的に会話しようとしたりする姿が見られる。授業後に毎回記入する「振り返りカード」においても、その時間に学習したことから「～はどう言うのだろう」といった新しい疑問や、「～を使ってみたい」、「～もやってみよう」といった次の学習につながる意欲をもっていることが伺える記述が多い。また、日本語と英語の共通点や相違点に関する気付きも多くみられる。

しかし、表現が長くなったり、2桁の数を使った時刻の言い方などのように少し複雑になったりしてくると声小さくなり、日本語を使ってしまうことがある。これらの児童は、与えられた表現を正しく発音しなくてはならない、間違えてはいけないという思いが強く、自信をもって話すことができなくなるのではないかと考えられる。

○ 指導に当たっては、次時の買い物の場面を想定し、ものの値段を聞いたり、伝えたりする言い方に十分に慣れるようにする。その際、本時で使う100以上の数の言い方や値段の言い方について、既習のものや日本語と英語の共通点や相違点に気付くようにしていく。具体的には、既習の100までの数と100以上の数を繰り返し聞いたり、発音したりすることで両者を比較し、気付かせたい。

値段の言い方については、英語での言い方を繰り返したうえで、日常生活における買い物の場面を想起させ、日本語も英語も、数字の後ろにお金の単位がついていることや、「円」と「yen」では言い方は似ているが発音の仕方が異なるなどに気付かせたい。

また、指導過程のうち「学習課題の提示」と「コミュニケーション活動」において同様の場面設定を行うことで、児童が活動内容について理解を深め、自信をもって表現できるようにしたい。

「慣れ親しむ活動」でも、値段をたずねたり、答えたりするフレーズを単に反復するのではなく、次の活動に移行しやすいような練習の工夫をしていきたい。

5 単元の目標

- ものの数えかたや値段の言い方、数の数え方について、日本語と英語、既習のものとの違いに気付くようにする。
- ほしいものとその数や値段の言い方に慣れるようにする。
- ほしいものやその値段を相手にたずねたり、伝えたりして、友達と楽しくコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けるようにする。

6 単元の評価の観点（評価規準）

ア ことばや文化に関すること	イ 聞くこと・話すこと
○ 数を表すことばの仕組みやものの数え方や値段の言い方などについて、日本語と英語の相違点や共通点に気付いている。	○ 値段を聞きとったり、伝えたりしようとするとともに、丁寧な言葉を使ったり、相手の顔を見て聞いたり、明瞭な声で話したりしようとしている。

7 学習計画（全4時間 本時3/4）

時	タイトル	学習活動	評価規準	評価方法
1	ほしいものとその数	○ ものと数を組み合わせて言うことを通して、日本語と英語の違いに気付く。	○ ものの数え方について日本語と英語の違いに気付いている。【ア】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発言 ・ 振り返りカードの自己評価、記述
2	ほしいものの色	○ ほしいものの色を聞きとったり、伝えたりすることを通して、いねいな受け答えの言い方に慣れる。	○ ていねいなことばを使って話そうとしている。【イ】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行動観察 ・ 振り返りカードの自己評価
3	ほしいものの値段 （本時）	○ 10から950までの数を使って、値段を尋ねたり答えたりする中で、数を表すことばの仕組みや値段の言い方について日本語と英語の相違点や共通点に気付く。	○ 100以上の数や値段の言い方について、既習のものや日本語との相違点や共通点に気付いている。 【ア】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発言 ・ 振り返りカードの自己評価、記述
4	買い物	○ 買い物の場面でのやりとりを通して、コミュニケーションを楽しむ。	○ ほしいものやその値段を相手の顔を見て聞いたり、明瞭な声で伝えたりしようとしている。【イ】	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行動観察 ・ 振り返りカードの自己評価

8 本時の目標

- ものの値段を聞いたり尋ねたりする活動を通して、数を表すことばの仕組みや値段の言い方について、今まで学習したものや日本語と英語の相違点・共通点に気付く。
- 100から950までの数を使って値段をたずねたり答えたりして、ものの値段の言い方に慣れる。

9 言語材料

- 数字 10 ~ 950
- How much is this? ~ yen.

10 本時の指導過程

時間	児童の活動	教師の支援		準備 評価
		T 1	T 2	
5分	あいさつ <ul style="list-style-type: none"> ・ T 2に英語で挨拶をする。 Hello, Ms. ○○. ・ T 2の気分を想像する。 ・ 自分の気分をT 2と同様に答える。 			
5分	学習課題の提示 <ul style="list-style-type: none"> ・ T 1とT 2の会話を聞いて場面や内容を推測する。 ・ 本時の学習課題を知る。 	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">フリーマーケットに出す品物に値段をつける場面を設定する。</div> <p>Five hundred fifty yen. Seven hundred yen. OK? How much is this? Um... discount please. OK!</p>	<p>How much is this? Oh no! Low price! OK! Nine hundred yen. Eight hundred yen. OK?</p>	ぬいぐるみ、本などの品物
10分	慣れ親しむ活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ 数カードを見て、T 2の発音を聞きながら声に出して言う 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10~90まで10とび、100~900の100とびの数字カードを示し、T 2の後について一緒に発音する。 ・ 100以上、以下の数の言い方の違いについて気付かせる。また日本語と英語の値段の言い方の共通点に気付かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ T 1の示す数字カードの単語を発音する。 	数カード

ものの値段をたずねたり伝えたりしよう。

7 分	ふり返り ・ ふり返りカードに記入する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 100以上の数を使って、ものの値段を伝えることができましたか。 ・ 友達の言う値段が聞き取れましたか。 ・ 値段交渉をするときにどんな工夫をしましたか？ </div> <p>○ 意欲的に活動していた児童を評価したり、「Nice 気付き」を発表させたりする。</p>		振り返りカード
1 分	あいさつ ・ T2 に英語で挨拶をする。 Thank you, Ms. ○○	Eye contact with Ms. ○○.	See you.	